

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21111	(上水)震災対策事業(体制構築)(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	2
21122	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)	公営企業局	水道管路管理センター	3
51212	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	4
51212	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	5
51212	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	6
51212	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	7
51212	(上水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	8
51212	(簡水・中島)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	9
51212	(簡水・北条)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	10
51212	(工水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	11
51212	(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	12
51212	(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	13
53323	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	14
53323	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	15

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管理計画担当	連絡先	989-8472		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	門田 耕太郎	担当	阿部 秀昭	鞍田 竜史	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)震災対策事業(体制構築)(水道管路管理センター分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
21111		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019				
政策	災害等に強いまちをつくる		-	-	-	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	危機管理体制の強化						
取組みの柱	危機事象に応じた体制の構築						
目的・背景	21世紀半ばの水道の将来像を描き、それを実現するための目標と施策を示した「水道ビジョンまつやま2009」の取り組みを継承しつつ、新たな課題にも対処していく必要があることから、国が示した「新水道ビジョン」と「経営戦略」の内容を一本化したものとして、「水道ビジョンまつやま2019」を策定した。このビジョンが示す目標の1つである「地震などの災害に強い水道を構築します」を実現するため、災害時に必要な水道資機材の確保を順次進め、防災体制を向上させることを目的とする。						
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵品の購入 ・仮設給水栓の購入 						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	総係費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	26,057	916	530		主な経費 (千円) 【R4 決算】	備蓄食料の購入費		110
	国費・県費						仮設給水栓の購入費		154
	市債						緊急用貯水槽関連備品の購入費		469
	その他								
	一般財源	26,057	916	530					
決算 (千円)	事業費計	21,580	733			主な取組 内容 【R4】	災害時に必要な水道資機材の確保		
	国費・県費						・備蓄食料の購入		
	市債						・仮設給水栓の購入		
	その他						・緊急用貯水槽関連備品の購入		
	一般財源	21,580	733						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	なし		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	備蓄食料の確保	目標	500	500	500	500	適切に購入できた。		
		実績	500	500					
	現状維持	個	達成率	100.0%	100.0%				
活動 指標	仮設給水栓の確保	目標	1	1	1	1	適切に購入できた。		
		実績	1	1					
	現状維持	個	達成率	100.0%	100.0%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	災害時に必要な資機材の購入を滞りなく実施することで、防災体制をより向上させることができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、災害時の資機材を購入する必要があるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	北部・南部担当	連絡先	989-8474	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	一色 直樹	担当	坂本 和城	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21122							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		○	○	○	-	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	市有施設の耐震化	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019				
取組みの柱	上下水道施設の耐震化						
目的・背景	・大きな被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化を図ることを目的とする。 ・老朽化が進む水道管(配水支管)の中でも、材質面で安全性に劣る硬質塩化ビニル管(VP)が今後更新時期を迎えることで漏水のリスクが高まっていることから、より安全性に優れた耐震管への布設替えが急がれる。						
対象・内容	・上下水道施設の配水支管(硬質塩化ビニル管等)を耐震管に更新する。 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事に伴う測量設計等の委託を実施 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事を実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	水道施設整備事業費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	硬質塩化ビニル管の更新		1,866,044
予算(千円)	事業費計	2,623,682	2,405,970	2,689,000					
	国費・県費								
	市債	824,000	938,858	1,000,053					
	その他	92,600	75,833	110,501					
一般財源	1,707,082	1,391,279	1,578,446						
決算(千円)	事業費計	2,009,039	1,866,044			主な取組内容【R4】	・硬質塩化ビニル管の更新工事L=14.4km (他事業による更新工事L=4.6kmは含まない。)		
	国費・県費								
	市債	736,700	762,600						
	その他	56,100	23,500						
一般財源	1,216,239	1,079,944							
人役	正規職員	14.0	12.0	12.0		特記事項	令和4年度 予算額のうち、488,100千円は翌年度に繰り越し		
	その他								
	合計	14.0	12.0	12.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	硬質塩化ビニル管の更新延長	目標	17.0	17.0	17.0	17.0	年間を通じて、概ね計画どおりに工事を実施することができた。		
		実績	15.3	19.0					
	単年で増	km	達成率	90.0%	111.8%				
成果指標	硬質塩化ビニル管の残存率	目標	12.0	12.0	12.0	8.1	概ね計画どおりに工事を実施した結果、目標残存率を達成することができた。		
		実績	12.4	11.6					
	累計で減	%	達成率	99.5%	100.5%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業を積極的に推進してきたことで、水道ビジョンまつやま2019の中間目標(令和5年度12%以下)を前倒しで達成できたため。							
課題	材料費及び労務費の高騰による事業費と事業量の調整			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	甚大な被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化が急がれるため、引き続き、最終目標の達成に向けて硬質塩化ビニル管の更新に取り組む。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	松本 潤	藤谷 瞭成	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	水道法第22条の2、水道ビジョンまつやま2019				
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	水道管の漏水修繕等、適切な維持管理をすることで、水道水を安定して供給することを目的としている。昭和28年の上水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため、継続して実施している。						
対象・内容	上水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象として維持管理業務を行う。 (令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約2,257km) ①漏水等の修繕……漏水や不具合箇所を補修・修理 ②管路パトロール……管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認等 ③洗管作業………水質異常(残留塩素低下や水温上昇等)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業費用	款	水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	漏水修繕委託		121,226
予算(千円)	事業費計	231,322	237,739	228,902					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	231,322	237,739	228,902						
決算(千円)	事業費計	196,968	204,524			主な取組内容【R4】	・漏水等の修繕 ・弁栓樹の取替えや高さ調整 ・管路パトロール ・水道管の洗管作業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	196,968	204,524							
人役	正規職員	6.4	6.5	6.5		特記事項			
	その他	1.4	0.5	0.5					
	合計	7.8	7.0	7.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	軽易な修繕(止水栓不良・量水器内漏水)の職員による修繕率	目標	85	85	85	85	漏水や不具合箇所を職員自身が積極的に修繕することで、迅速な対応につながった。	
		実績	84	86				
	現状維持	%	達成率	98.8%	101.2%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	漏水や不具合箇所の修繕に迅速に対応し、水道水を安定して供給することができたため。						
課題	特に無し	今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も水道水の安定供給のため、迅速な修繕対応を行っていく。			

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	松本 潤	藤谷 瞭成	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営		
51212									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-		
施策	上水道等の整備								
主な取組	上水道等の建設・維持		根拠法令	水道法第22条の2					
取組みの柱	施設の維持管理等								
目的・背景	水道管の漏水修繕等、適切な維持管理をすることで、水道水を安定して供給することを目的としている。平成16年度(H17.1.1)の旧中島町との合併以降、安定的な水運用をするため、継続して実施している。								
対象・内容	<p>中島地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象として維持管理業務を行う。 (令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約107km)</p> <p>①漏水等の修繕……漏水や不具合箇所の補修・修理 ②管路パトロール……管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認等 ③洗管作業………水質異常(残留塩素低下や水温上昇等)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管</p>								

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算(千円)	事業費計	13,740	12,756	9,309		主な経費(千円)【R4決算】	漏水修繕委託		7,444
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,740	12,756	9,309					
決算(千円)	事業費計	5,818	8,618			主な取組内容【R4】	・漏水等の修繕 ・弁栓樹の取替えや高さ調整 ・管路パトロール ・水道管の洗管作業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,818	8,618						
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漏水を伴う修繕の受付後1週間以内対応率	目標	100	100	100	100	漏水箇所の特定に時間を要した箇所があった。		
		実績	94	89					
	現状維持	%	達成率	94.0%	89.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漏水や不具合を特定した箇所の修繕は、迅速に対応し、水道水を安定して供給することができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も水道水の安定供給のため、迅速な修繕対応を行っていく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	松本 潤	藤谷 瞭成	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営		
51212									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-		
施策	上水道等の整備								
主な取組	上水道等の建設・維持		根拠法令	水道法第22条の2					
取組みの柱	施設の維持管理等								
目的・背景	水道管の漏水修繕等、適切な維持管理をすることで、水道水を安定して供給することを目的としている。平成16年度(H17.1.1)の旧北条市との合併以降、安定的な水運用をするため、継続して実施している。								
対象・内容	北条地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象として維持管理業務を行う。(令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約12km) ①漏水等の修繕……漏水や不具合箇所の補修・修理 ②管路バトロール……管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認等 ③洗管作業……水質異常(残留塩素低下や水温上昇等)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管								

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算(千円)	事業費計	2,744	3,217	3,461		主な経費(千円)【R4決算】	漏水修繕委託		2,930
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,744	3,217	3,461					
決算(千円)	事業費計	1,877	2,930			主な取組内容【R4】	・漏水等の修繕 ・弁栓樹の取替えや高さ調整 ・管路バトロール ・水道管の洗管作業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,877	2,930						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漏水を伴う修繕の受付後1週間以内対応率	目標	100	100	100	100	漏水箇所を素早く特定し、迅速に修繕することができた。		
		実績	33	100					
	現状維持	%	達成率	33.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		%	達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漏水や不具合箇所の修繕に迅速に対応し、水道水を安定して供給することができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も水道水の安定供給のため、迅速な修繕対応を行っていく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	松本 潤	藤谷 瞭成

1.事業概要【Plan】

事業名	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
51212							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持	根拠法令	工業用水道事業法第14条				
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	水道管の漏水修繕等、適切な維持管理をすることで、水道水を安定して供給することを目的としている。昭和27年の工業用水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため、継続して実施している。						
対象・内容	工業用水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象として維持管理業務を行う。 (令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約4.2km) ①漏水等の修繕・・・漏水や不具合箇所の補修・修理 ②管路パトロール・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認等						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	5,076	5,253	4,730		主な経費 (千円) 【R4 決算】	漏水修繕委託		1,546
	国費・県費						構造物の修繕		3,223
	市債								
	その他								
	一般財源	5,076	5,253	4,730					
決算 (千円)	事業費計	5,711	4,770			主な取組 内容 【R4】	・漏水等の修繕 ・弁栓樹の取替えや高さ調整 ・管路パトロール ・水道管の洗管作業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,711	4,770						
人役	正規職員	0.2	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	漏水を伴う修繕の受付後 1ヶ月以内対応率	目標	100	100	100	100	漏水を伴う工業用水道管の修繕が無かった。		
		実績	100	-					
	現状維持	%	達成率	100.0%	-				
		目標							
		実績							
		%	達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漏水を伴う修繕は無かったが、不具合箇所の修繕に迅速に対応し、水道水を安定して供給することができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も水道水の安定供給のため、迅速な修繕対応を行っていく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	佐野 文彦	達川 剛	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-	-	-	
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持	根拠法令	計量法第2条第4項、第16条第1項				
取組みの柱	施設の維持管理等		計量法施行令第2条、第18条				
目的・背景	水道料金を算出するための重要な給水装置である水道メーターを計画的に取替える。 水道メーターは計量法により使用期限が8年と定められおり、検定満期までに取替える必要がある。						
対象・内容	検定満期や故障により取替を予定している水道メーターを企業局で購入し、取替業務を松山市管工事業協同組合に委託している。 取替作業は、組合員の水道業者がお客様に対し、メーター取替の案内文書を事前に投函してから行っている。						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度			主な経費(千円)【R4決算】	メーター修理及び取替等	147,513
予算(千円)	事業費計	254,507	259,133	249,700				メーター購入	71,480
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	254,507	259,133	249,700					
決算(千円)	事業費計	206,419	236,601				主な取組内容【R4】	計画的な水道メーターの取替え 取替件数:27,392件	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	206,419	236,601						
人役	正規職員	1.9	1.4	1.4			特記事項		
	その他								
	合計	1.9	1.4	1.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	水道メーターの取替件数	目標	27,424	27,193	27,636	26,815	水道メーターを計画的に取替えることができた。		
		実績	26,715	27,392					
	現状維持	件	達成率	97.4%	100.7%				
成果指標	検定満期までに取替できなかった水道メーター数	目標	0	0	0	0	水道メーターを検定満期までにすべて取り替えることができた。		
		実績	0	0					
	現状維持	個	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	検定満期を迎える水道メーターを計画的かつ確実に取替えることができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も検定満期までに確実に水道メーターを取替えていく必要がある。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	佐野 文彦	達川 剛	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	計量法第2条第4項、第16条第1項 計量法施行令第2条、第18条				
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	水道料金を算出するための重要な給水装置である水道メーターを計画的に取替える。 水道メーターは計量法により使用期限が8年と定められおり、検定満期までに取替える必要がある。						
対象・内容	検定満期や故障により取替を予定している水道メーターを企業局で購入し、取替業務を松山市管工事業協同組合に委託している。 取替作業は、組合員の水道業者がお客様に対し、メーター取替の案内文書を事前に投函してから行っている。						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	1,501	3,305	782		主な経費 (千円) 【R4 決算】	メーター修理及び取替等		2,010	
	国費・県費									
	市債									612
	その他									
	一般財源	1,501	3,305	782						
決算 (千円)	事業費計	1,132	2,756			主な取組 内容 【R4】	計画的な水道メーターの取替え 取替件数:279件			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	1,132	2,756							
人役	正規職員	0.1	0.1			特記 事項				
	その他									
	合計	0.1	0.1	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	水道メーターの取替件数	目標	181	290	52	369	水道メーターを計画的に取替えることができた。		
		実績	125	279					
	現状維持	件	達成率	69.1%	96.2%				
成果 指標	検定満期までに取替できなかった水道メーター数	目標	0	0	0	0	水道メーターを検定満期までにすべて取り替えることができた。		
		実績	0	0					
	現状維持	個	達成率	100.0%	100.0%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	検定満期を迎える水道メーターを計画的かつ確実に取替えることができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も検定満期までに確実に水道メーターを取替えていく必要がある。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	佐野 文彦	達川 剛	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・北条)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	計量法第2条第4項、第16条第1項 計量法施行令第2条、第18条				
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	水道料金を算出するための重要な給水装置である水道メーターを計画的に取替える。 水道メーターは計量法により使用期限が8年と定められおり、検定満期までに取替える必要がある。						
対象・内容	検定満期や故障により取替を予定している水道メーターを企業局で購入し、取替業務を松山市管工事業協同組合に委託している。 取替作業は、組合員の水道業者がお客様に対し、メーター取替の案内文書を事前に投函してから行っている。						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	321	629	121		主な経費 (千円) 【R4 決算】	メーター修理及び取替等		307	
	国費・県費							メーター購入		153
	市債									
	その他									
一般財源	321	629	121							
決算 (千円)	事業費計	246	471			主な取組 内容 【R4】	計画的な水道メーターの取替え 取替件数:70件			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
一般財源	246	471								
人役	正規職員					特記 事項				
	その他									
	合計	0.0	0.0	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	水道メーターの取替件数	目標	39	71	10	0	水道メーターを計画的に取替えることができた。		
		実績	36	70					
	現状維持	件	達成率	92.3%	98.6%				
成果 指標	検定満期までに取替できなかった水道メーター数	目標	0	0	0	0	水道メーターを検定満期までにすべて取り替えることができた。		
		実績	0	0					
	現状維持	個	達成率	100.0%	100.0%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	検定満期を迎える水道メーターを計画的かつ確実に取替えることができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も検定満期までに確実に水道メーターを取替えていく必要がある。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	佐野 文彦	達川 剛	

1.事業概要【Plan】

事業名	(工水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持	根拠法令	計量法第2条第4項、第16条第1項				
取組みの柱	施設の維持管理等		計量法施行令第2条、第18条				
目的・背景	使用水量を確認するための水道メーターや流量計の取替え及び突発修繕に対応する。 計量法で口径350ミリ以下の水道メーターは使用期限が8年と定められているため、検定満期までに取替える必要がある。(対象:2箇所) 口径400ミリ以上の流量計には計量法が適用されないため、突発的な修繕の必要が生じた場合に対応する。(対象:5箇所)						
対象・内容	検定満期や故障により取替を予定している水道メーターを企業局で購入し、取替業務を松山市管工事事業協同組合に委託している。 取替作業は、組合員の水道業者がお客様に対し、メーター取替の案内文書を事前に投函してから行っている。 使用期限が無い流量計は、突発的な故障があった場合に製造業者に修繕を依頼する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	221	221	1,018		主な経費 (千円) 【R4 決算】	メーター修理及び取替等		0
	国費・県費						メーター購入		0
	市債								
	その他								
	一般財源	221	221	1,018					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な取組 内容 【R4】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
人役	正規職員			0.1		特記 事項	一定額を予算化していたが、突発的な故障が発生しなかったため。		
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	突発的な修繕が生じた場合 の3か月以内対応率	目標	100	100	100	100	流量計の突発的な修繕が無かった。	
		実績	-	-	-	-		
	現状維持	%	達成率	-	-	-		-
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	その他						
	理由	流量計の突発的な修繕が発生せず、使用水量を正確に確認することができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も流量計の突発的な修繕に対応していく必要がある。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管理計画担当	連絡先	989-8472		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	門田 耕太郎	担当	鞍田 竜史	岡本 康隆	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	水道法第22条の3				
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	上水道管路の管理用図面や工事完成図面を紙面等で管理していたが、紛失や誤転記等による情報精度の低下及び事務スペースの確保が問題となっていたため、平成元年度から全庁的な電子地図の整備に関する取り組みである都市情報システムの構築に参加している。これにより、上水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステムで一元管理ができ、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けることで、上水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化している。						
対象・内容	システムで管理する上水道に関する台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を支援するとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新 ・システム再構築業務の実施						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	総係費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	59,159	81,806	58,152		主な経費 (千円) 【R4 決算】	地図情報システムの維持管理		40,064
	国費・県費							地図情報システムの再構築	
	市債								
	その他								
決算 (千円)	事業費計	52,730	61,470			主な取組 内容 【R4】	・都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新 ・システム再構築業務の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項			
	その他								
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	データ更新回数	目標	10	10	5	10	定期的に報告会を開催することにより、業務の進捗を管理することができた。		
		実績	12	10					
	現状維持	回	達成率	120.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新に関する委託業務については、当初予定した工程を順守し、満足する成果をあげることができたため。また、システム再構築に関する委託業務については、令和5年度の業務完了に向けて、適切に進捗管理できているため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	上水道の地図や図面に関する情報を迅速に提供できており、関連する業務(工事・維持管理等)の省力化・高度化が図れているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管理計画担当	連絡先	989-8472		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	門田 耕太郎	担当	鞍田 竜史	岡本 康隆	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51212				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				-	-	-	-	
政策	快適な生活基盤をつくる								
施策	上水道等の整備			根拠法令	水道法第22条の3				
主な取組	上水道等の建設・維持								
取組みの柱	施設の維持管理等								
目的・背景	簡易水道管路の管理用図面や工事完成図面を紙面等で管理していたが、紛失や誤転記等による情報精度の低下及び事務スペースの確保が問題となっていたため、上水道で利用している都市情報システムに取り込み、電子化を行った。これにより、簡易水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステムで一元管理でき、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けることで、簡易水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化している。								
対象・内容	システムで管理する簡易水道に関する台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を下支えするとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新								

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区 簡易水道事業費用	項	営業費用	目	総係費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	地図情報システムの維持管理		590
予算(千円)	事業費計	612	613	1,100					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	612	613	1,100					
決算(千円)	事業費計	590	590			主な取組内容【R4】	・都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	590	590						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	データ更新回数	目標	10	10	5	10	定期的に報告会を開催することにより、業務の進捗を管理することができた。		
		実績	12	10					
	現状維持	回	達成率	120.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	都市情報システム(上水道サブシステム)の運用と台帳データの更新に関する委託業務について、当初予定した工程を順守し、満足する成果をあげることができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	簡易水道の地図や図面に関する情報を迅速に提供できており、関連する業務(工事・維持管理等)の省力化・高度化が図れているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	森野 陽二	水木 秀昭	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
53323		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019				
政策	豊かな自然と共生する		-	-	-	-	
施策	節水型都市づくりの推進						
主な取組	水資源の有効利用						
取組みの柱	漏水防止対策						
目的・背景	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水資源開発の一環として位置づけており、水道管路の漏水調査により、漏水を早期発見し修繕することで、水資源の有効活用を図る。						
対象・内容	上水道の水道施設を対象とし、老朽化が懸念される路線を重点的に漏水調査する。 (令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約2,257km) ①戸別音聴調査…家庭内のメーターに音調棒をあて、漏水音の有無を調査 ②路面音聴調査…漏水探知器を使用して、埋設管の漏水音を路面上から調査 ③相関式調査…漏水箇所を挟む2点間にセンサーを設置し、漏水音が伝わる時間差により漏水地点を特定						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	漏水調査(委託)		48,433
予算(千円)	事業費計	76,168	72,387	69,720					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	76,168	72,387	69,720					
決算(千円)	事業費計	78,083	53,026			主な取組内容【R4】	戸別音聴調査 路面音調調査 相関式調査		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	78,083	53,026						
人役	正規職員	2.0	1.9	2.0		特記事項			
	その他								
	合計	2.0	1.9	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漏水調査で見つけた配水管の漏水量	目標	4.2	4.2	4.2	4.2	漏水を早期に発見し修繕することで、水資源の有効活用につながった。		
		実績	5.0	6.3					
	現状維持	m3/h	達成率	119.0%	150.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	水道管の漏水を少量のうちに早期に発見し修繕することで、水資源の有効活用を図ることができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も水道水の安定供給のため、漏水の早期発見に努める。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当G	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
部長等名	一色 芳朗	課等長名	森貞 昭和	リーダー	森田 直幸	担当	森野 陽二	水木 秀昭	

1.事業概要【Plan】

事業名	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
53323		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-	-	-	
政策	豊かな自然と共生する						
施策	節水型都市づくりの推進	根拠法令					
主な取組	水資源の有効利用						
取組みの柱	漏水防止対策						
目的・背景	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水資源開発の一環として位置づけており、水道管路の漏水調査により、漏水を早期発見し修繕することで、水資源の有効活用を図る。						
対象・内容	<p>中島地区簡易水道の水道施設を対象とし、老朽化が懸念される路線を重点的に漏水調査する。(2年に1回) (令和3年度末 管路延長(導・送・配) 約107km)</p> <p>①戸別音聴調査…家庭内のメーターに音調棒をあて、漏水音の有無を調査 ②路面音聴調査…漏水探知器を使用して、埋設管の漏水音を路面上から調査 ③相関式調査…漏水箇所を挟む2点間にセンサーを設置し、漏水音が伝わる時間差により漏水地点を特定</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区 簡易水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	漏水調査(委託)		3,080
予算 (千円)	事業費計	616	4,558	423					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	616	4,558	423					
決算 (千円)	事業費計	0	3,969			主な取組 内容 【R4】	戸別音聴調査 ・路面音調調査 ・相関式調査		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	3,969						
人役	正規職員		0.1			特記 事項			
	その他								
	合計	0.0	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	漏水調査で見つけた配水管の漏水量	目標	-	0.4	-	0.4	漏水を早期に発見し修繕することで、水資源の有効活用につながった。		
		実績	-	0.9					
	現状維持	m3/h	達成率	-	225.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	水道管の漏水を少量のうちに早期に発見し修繕することで、水資源の有効活用を図ることができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も水道水の安定供給のため、漏水の早期発見に努める。		